

5月1日 お話朝会

西小の皆さん。おはようございます。

先生たちは、皆さんにやさしく、かしこく、たくましく育ってほしいと思っています。

もう少し詳しく言うと、思いやりをもち、進んで学びに向かい、前向きに生きる人になってほしいと思っています。

今日は、このうち、思いやりをもち、の「思いやり」についてお話をします。

思いは、私たちが心の中で抱くものです。ですから当然、人から見てもわかりません。思いが行動として表れて初めて、思いやりとして人に伝わります。

例えば、電車の中で座っていると前に体調の悪そうな人が立ちました。その時、この人辛そうだな、大丈夫かな、席を譲ろうかなと思います。そうやって思っていることは、人にはわかりません。けれども、勇気を出して立ち上がり、どうぞ座ってくださいと席を譲って初めて、その優しい思いは相手に伝わります。

行動することで、思いが思いやりへと変わるのでです。

ある時、ある駅のホームを歩いていると、大きな看板が目に入りました。

「親切はいつもふたり以上を幸福にする」

それは、ハンカチを拾って周りを見渡す女性の写真に添えられていました。

おそらく、このハンカチは持ち主が大切な誰かからプレゼントされたものなのでしょう。このハンカチを持ち主に渡してあげることで、持ち主は喜び、幸せになります。そして、きっとその姿を見て、拾ってあげた人も嬉しくなって幸せになります。

これで2人が幸せになります。

さらに、このハンカチを持ち主にプレゼントしてあげた誰かも、このことを知って喜び、幸せになるかもしれません。だから2人以上を幸せにするということなのかなと思いました。

またある時、私は道でこの学校にお孫さんが通っているお爺さんとお話をしました。お孫さんが可愛くて仕方がないというそのお爺さんは、私にとって孫は宝物です。と私に言いました。

その時私は、そのお孫さんを大事にしてあげたいなと思いました。同時に、ここにいる皆さんを大事にしてあげたいと思いました。なぜなら、必ず皆さんを宝物のように思う人たちがいるからです。そして、私が皆さんに思いやりをもって接することで、皆さんと私が幸せになるだけでなく、きっと皆さんを大事に思う人たちも幸せになると思ったからです。

今日は思いやりについてお話ししました。

「思いは見えないけれど、思いやりは見える」

「親切はいつもふたり以上を幸福にする」

この2つの言葉をお伝えしました。

皆さんのがそれぞれ、これらの言葉を胸に刻み、思いやりを形にしてくればいいなど願っています。